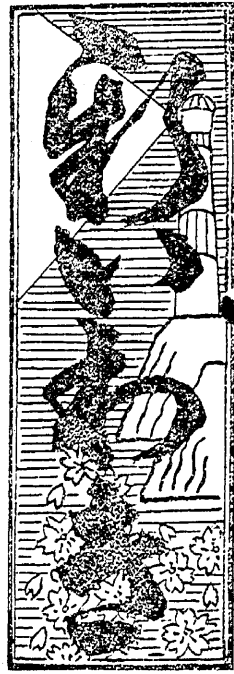


刊夕日三十月六



休日 曜日 祭日
一月廿五日
二月廿五日
三月廿五日
四月廿五日
五月廿五日
六月廿五日
七月廿五日
八月廿五日
九月廿五日
十月廿五日
十一月廿五日
十二月廿五日

一週一言

家屋税調査委員会なるもの、徒勞無益は吾れ等が幾度か之れを唱ひた所であるが今や一般の聲となつた其の第二次委員会が石城郡には来る十四日から三日間平岩會議室に於て行はれる。

委員その人にも意を同じうしつゝ之れに出席せねばならぬ迷惑なものとなつた該調査會が何故に無用の長物視されるであらう、それは云ふ迄もない會議の價値の存在がないからである。

調査委員なるものが各自町村の實狀を深觀し如何に慎重審議を凝らした所が委員會の決定に何等權威がなく知事の第三次決定を最善に屈從させられてゐる。

委員會の決定は名のみであつて謂はゞ参考資料の進言に過ぎない、元來が縣の同稅收入は徹頭徹尾豫算に當てはめるのが建前で其所にこぎつけなければ縣財政がどうにもならぬと云ふ。然らば委員會は一層

地下採掘問題其他で

十五、六日頃平町會

水道の竣功式は又延期

平町では来る十五、六日頃なるべき地表の異動を氣遣町會招集の模様であるが今は是れの結果如何にしても支四日提出條件は豫算の更正障なきものと認むる能はず小學校教員の死亡給與金並る旨の回答をなすことに決りかねて諮問されてゐる同するらしく尙ほ町財政の關町地下石炭採掘の關係で繰延ばされてゐる上水するもの等で該關係地帯擴張工事の竣功式は工事の飯野村に既に支障なき答に一部未了の箇所もあり且申をなしてゐる爲めに上局つ殘務整理に就すべき係員から正式の回答を督促されもある此件の附議ある如くた答申であつて平町としてなるも式はまた一、來七月は遠からぬ將來に町宅地とに繰延ばされるであらうと

石城民政部會の不況對策申合せ

代表者が當路に陣情

民政黨石城部會幹部有志三十名は十一日午後七時から平町民政俱樂部に時局問題に關し協議會を開催し、就ては政府に於ても既に四大救済案を定むる等着々その實現を期しつゝ、

め農漁村並に中小商工業、體育部は齊藤賢一氏の救済及當地方の盛衰に重大關係を有する炭礦業者の窮境を打開せしむる様地方選出代議士を通じて政府當路及政黨本部に陳情し其目的達成に努力すること

片倉の春蘭 初入荷 今日玉山から

青年團幹部會 今年度豫算打合せ

平青年團幹部會は十一日午後七時半から平庶民金庫樓上で開催、今年度事業計畫及基金造成に關し打合せをなし團員養成部長の選舉を行つた結果、修養部は磯貝

警中、双中を屠り 平商遂に恨をのむ

双中對警中は午前十時四十分平商オール安打で最初に六五分から警中球場で舉行、點を挙げたが双中もまた平審判團井(球)大越、佐分利商赤坂投手病後の不振で四高木(壘)バッテリー警中は球續出に乘じて九點をアベ(杉浦、佐藤)双中は(富澤、中)警中先攻で試合開始ゲームとなり延長戦に入る双中最初から闘志を欠き不好試合を見せたが勝運なく振に乘じ警中終始打ちまく結局十六對十五で惜敗した

Table with 2 columns: Team, Score. Rows include 双中 (20-0), 警中 (15-16), and 野球二ユース (6-15).

御台境の轢死 覺悟の自殺らし

平町才越小路地自動車部運轉手佐藤正壽(二一)が十一日午後一時十分頃、平窪村上平窪字若ヶ澤縣道地内を疾走中過つて前方を進行中の好間村川中子字八方屋松本ノブ(五四)と衝突全治一週間の傷害を負はせた。

金時計を盗む 内郷村高坂佐藤久(二一)は十二日午後九時半頃湯本町十二日午後九時半頃湯本町時計一個價格三十圓を窃取

家出娘戻さる 平町紺屋町三三番物商甚五右門二女吉田とし(二五)は十一日午後五時頃無断家出したので捜索中のところ十日中村署に取押へられた

四倉繭市場は けふから開市 石城地方春繭出廻る

石城地方に於ける春繭は四十錢かと思込まれてゐたつゝ、出廻りを初め四倉繭尙仙臺放送局では十三日か市場は今十三日から開場し十二日午後七時半若しの我が國權伸張を心安かに報告仕り候この日空には終始數臺の陸軍飛行機飛來し旋回し爆音勇ましくあらゆる高等妙技を演じ一層國軍の力強さを感じ申し候

婆さん轢かる 平窪の自動車事故

平町才越小路地自動車部運轉手佐藤正壽(二一)が十一日午後一時十分頃、平窪村上平窪字若ヶ澤縣道地内を疾走中過つて前方を進行中の好間村川中子字八方屋松本ノブ(五四)と衝突全治一週間の傷害を負はせた。

奉天大會は終了 藤田中尉より通信

奉天に於ける全國大會は一昨五日同市忠靈塔前の廣場に於て厳かに舉行され候衛兵と憲兵と關東廳巡查と而して滿洲人の巡捕等により武裝いかめしく物々しく警戒された會場の周圍。關東軍司令官本庄中將以下多門第二師團長並關係幕僚關東廳及滿鐵の首領部等文武顯官の來臨は時節と場所柄一入の人氣を集め申候。

共其日の異彩に御座候き忠靈塔に頼づきては數萬の尊い英靈を弔ひ日露役後の我が國權伸張を心安かに報告仕り候この日空には終始數臺の陸軍飛行機飛來し旋回し爆音勇ましくあらゆる高等妙技を演じ一層國軍の力強さを感じ申し候

